

令和4年度銚田地域におけるイチゴ花芽分化の状況について

銚田地域において、8月25日から10月25日まで、イチゴの頂花房及び腋花房の花芽検鏡を行いました。今年の育苗期の気温は、6月下旬から8月中旬まで平年並みからやや高めで推移し、平年より早く6月から猛暑日が観測されました。そのため夜冷処理、無処理の苗はいずれも、昨年度と比べて花芽分化が遅れました。検鏡の結果をもとに、定植は昨年より5日程度遅く行いました。

定植後の一次腋花房の分化の遅れが心配されましたが、夜冷処理をした株は気温の低下とともに花芽が去年より3日程度早く分化、無処理株は昨年より3日程度遅い分化となりました。

本年は、8月中・下旬に日照が少なくなりました。また、降水量は8月が平年の7割、9月が約半分となりました。日照・降水量が少なく光合成が不足し、高温により呼吸での消耗が大きい年であったことから、株を充実させるのが難しい年となりました。

早い作型では開花が始まり、11月上旬から出荷が始まる予定です。これからも銚田普及センターは、イチゴ経営体の収量向上を目指し、支援を続けていきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）